**令和7年度 予算のあらまし**

令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計の概要については、次のとおりです。

令和7年度予算は、総額で約1,433億2千万円の規模となり、前年度より約39億6千万円の増額となりました。

問い合わせ　財政課財政担当　電話23-5029

【円グラフ】

**歳入　655億1**,**000万円**

**図❶**

地方交付税　179億8,000万円　27.4％

市税　172億7,000万円　26.4％

国庫支出金　95億364万円　14.5％

市債　55億3,410万円　8.5％

県支出金　43億4,570万円　6.6％

地方消費税交付金　35億7,888万円　5.5％

繰入金　29億1,353万円　4.4％

諸収入　15億4,252万円　2.4％

その他　28億4,163万円　4.3％

**歳出　655億1**,**000万円**

**目的別　図❷**

民生費　221億4,903万円　33.8％

公債費　94億4,220万円　14.4％

衛生費　70億136万円　10.7％

教育費　69億9,702万円　10.7％

総務費　68億1,190万円　10.4％

土木費　66億4,411万円　10.1％

消防費　24億3,155万円　3.7％

農林水産業費　18億5,576万円　2.8％

商工費　16億9,319万円　2.6％

その他　4億8,388万円　0.8％

**性質別　図➌**

Ⓐ義務的経費

扶助費　138億3,378万円　21.1％

人件費　99億4,530万円　15.2％

公債費　94億4,220万円　14.4％

Ⓑ投資的経費

普通建設事業費　45億7,514万円　7.0％

Ⓒその他の経費

補助費等　133億6,022万円　20.4％

物件費　84億4,495万円　12.9％

繰出金　33億6,668万円　5.1％

維持補修費　10億8,552万円　1.7％

その他　14億5,621万円　2.2％

令和7年度の予算は、人件費および扶助費などの義務的経費が増加することに加え、物価の高騰などによる厳しい財政状況を踏まえ、歳入確保と一般財源の効果的な配分を強く意識した予算編成となりました。

そのような中でも、「宝の都（くに）・おおさき」の実現のため、第2次大崎市総合計画後期基本計画に掲げる重点プロジェクトの3つの視点「挑む」・「創る」・「守る」を基軸に、各種施策を展開するために必要な予算を計上しています。

また、ふるさと納税を財源とした「政策推進枠」により、喫緊の課題への対応や新たな政策的かつ戦略的分野を促進する取り組みを継続しています。

主な事業の実施概要は、市ウェブサイトで確認することができます。

**一般会計の歳入(図❶)**

最も高い割合を占めている地方交付税は、歳入全体の27.4％で約179億8千万円となり、前年度より約1億3千万円の増額となりました。

市税は、歳入全体の26.4％で約172億7千万円となり、約13億円の増額となりました。

国庫支出金は、歳入全体の14.5％で約95億円となり、約7億8千万円の増額となりました。

市債は、歳入全体の8.5％で約55億3千万円となり、約8億円の増額となりました。

**一般会計の歳出(目的別・図❷)**

目的別に見ると、最も高い割合を占めている民生費は、歳出全体の33.8％で約221億5千万円となりました。障がい者支援や児童福祉、生活保護にかかる経費などを計上しています。

次に、公債費が14.4％で約94億4千万円、衛生費が10.7％で約70億円となりました。

**一般会計の歳出(性質別・図➌)**

性質別に見ると、義務的経費(Ⓐ)は、約332億2千万円となりました。内訳は、扶助費が約138億3千万円、人件費が約99億5千万円、公債費が約94億4千万円となり、合計で前年度より約24億9千万円の増額となりました。

投資的経費(Ⓑ)である普通建設事業費は、放課後児童支援施設整備事業や体育施設改修事業などの予算を計上し、総額で約45億8千万円となりました。

その他の経費(Ⓒ)は、補助費等など約277億1千万円となりました。

**特別会計・公営企業会計の支出(表❶)**

市では、特別会計を9会計設置しています。

介護保険特別会計が約139億円、令和7年度に新設した日本語学校事業特別会計が約9千万円など、特別会計の合計額は約295億3千万円で、市の予算総額の20.6％となりました。

公営企業会計は、病院事業会計が約324億3千万円、下水道事業会計が約92億5千万円、水道事業会計が約66億円となりました。

**公営企業会計の収入と支出（表❷）**

公営企業会計で行う病院事業・下水道事業・水道事業は、医療費や下水道使用料、水道料金を主な財源として運営しています。いずれも、市民生活に欠かすことのできない事業です。

「収益的収支」は、日常の経営に係る収支であり、「資本的収支」は、施設の建設や改良、機器の整備などに係る収支となっています。

公営企業会計の資本的収支における収入額が支出額に対し不足する額は、過去に収益的収支で蓄えられている資金（過年度損益勘定留保資金）などで補てんされます。

【用語解説】

■一般会計

市が提供する行政サービスの基本的な経理を行う会計です。

■特別会計

法律で義務付けられている事業や一般会計と区分して経理を行う必要がある事業について設置する会計です。

■公営企業会計

病院事業や下水道事業、水道事業のように事業収益を持ち、複式簿記で経営する会計です。

【表】

表❶　会計別予算の内訳（歳出）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **会計区分** | **当初予算額** | **構成比** |
| **一般会計** | **655億1,000万円** | **45.7%** |
| **特別会計** | **295億3,110万円** | **20.6%** |
| 介護保険特別会計 | 138億9,845万円 | 9.7% |
| 国民健康保険特別会計 | 136億2,872万円 | 9.5% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 16億8,963万円 | 1.2% |
| 夜間急患センター事業特別会計 | 1億4,776万円 | 0.1% |
| 日本語学校事業特別会計 | 8,971万円 | 0.1% |
| 市有林事業特別会計 | 4,049万円 | 0.0% |
| 奨学資金貸与事業特別会計 | 2,602万円 | 0.0% |
| 宅地造成事業特別会計 | 944万円 | 0.0% |
| 工業団地造成事業特別会計 | 88万円 | 0.0% |
| **公営企業会計** | **482億8,227万円** | **33.7%** |
| 病院事業会計 | 324億2,652万円 | 22.6% |
| 下水道事業会計 | 92億5,217万円 | 6.5% |
| 水道事業会計 | 66億358万円 | 4.6% |
| **合計** | **1,433億2,337万円** | **100.0%** |

表❷　公営企業会計の収入と支出

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 病院事業会計 |
| **項目** | **当初予算額** | **構成比** |
| 収益的収支 | 収入 | 医業収益 | 247億9,254万円 | 89.3% |
| 医業外収益 | 28億1,864万円 | 10.1% |
| 特別利益 | 1億5,737万円 | 0.6% |
| **病院事業収益** | **277億6,855万円** | **100.0%** |
| 支出 | 医業費用 | 283億5,650万円 | 98.8% |
| 医業外費用 | 3億3,360万円 | 1.2% |
| 特別損失 | 1,475万円 | 0.0% |
| 予備費 | 1,000万円 | 0.0% |
| **病院事業費用** | **287億1,485万円** | **100.0%** |
| 資本的収支 | 収入 | 企業債 | 20億8,700万円 | 73.9% |
| 負担金交付金 | 7億3,685万円 | 26.1% |
| 他会計補助金 | 155万円 | 0.0% |
| 長期貸付金返還金 | 0万円 | 0.0% |
| 固定資産売却代金 | 0万円 | 0.0% |
| **資本的収入** | **28億2,540万円** | **100.0%** |
| 支出 | 建設改良費 | 22億7,679万円 | 61.3% |
| 企業債償還金 | 14億1,168万円 | 38.0% |
| 投資 | 1,320万円 | 0.4% |
| 予備費 | 1,000万円 | 0.3% |
| **資本的支出** | **37億1,167万円** | **100.0%** |

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 下水道事業会計 |
| **項目** | **当初予算額** | **構成比** |
| 収益的収支 | 収入 | 営業収益 | 18億8,448万円 | 43.3% |
| 営業外収益 | 24億4,494万円 | 56.1% |
| 特別収益 | 2,617万円 | 0.6% |
| **下水道事業収益** | **43億5,559万円** | **100.0%** |
| 支出 | 営業費用 | 43億1,685万円 | 92.4% |
| 営業外費用 | 3億3,011万円 | 7.1% |
| 特別損失 | 360万円 | 0.1% |
| 予備費 | 2,000万円 | 0.4% |
| **下水道事業費用** | **46億7,056万円** | **100.0%** |
| 資本的収支 | 収入 | 企業債 | 17億1,540万円 | 51.2% |
| 他会計出資金 | 7億1,000万円 | 21.2% |
| 他会計補助金 | 2億2,338万円 | 6.7% |
| 国県補助金 | 6億5,950万円 | 19.7% |
| 負担金及び分担金 | 3,912万円 | 1.2% |
| **資本的収入** | **33億4,740万円** | **100.0%** |
| 支出 | 建設改良費 | 16億4,022万円 | 35.8% |
| 企業債償還金 | 29億3,139万円 | 64.0% |
| 予備費 | 1,000万円 | 0.2% |
| **資本的支出** | **45億8,161万円** | **100.0%** |

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 水道事業会計 |
| **項目** | **当初予算額** | **構成比** |
| 収益的収支 | 収入 | 営業収益 | 37億158万円 | 94.6% |
| 営業外収益 | 2億1,274万円 | 5.4% |
| 特別利益 | 1万円 | 0.0% |
| **水道事業収益** | **39億1,433万円** | **100.0%** |
| 支出 | 営業費用 | 37億7,280万円 | 95.8% |
| 営業外費用 | 1億3,666万円 | 3.5% |
| 特別損失 | 850万円 | 0.2% |
| 予備費 | 2,000万円 | 0.5% |
| **水道事業費用** | **39億3,796万円** | **100.0%** |
| 資本的収支 | 収入 | 企業債 | 9億8,180万円 | 85.6% |
| 補助金 | 2,386万円 | 2.1% |
| 負担金 | 8,207万円 | 7.2% |
| 他会計負担金 | 5,329万円 | 4.6% |
| 出資金 | 640万円 | 0.5% |
| 固定資産売却代金 | 0万円 | 0.0% |
| **資本的収入** | **11億4,742万円** | **100.0%** |
| 支出 | 建設改良費 | 18億7,518万円 | 70.3% |
| 企業債償還金 | 6億8,019万円 | 25.5% |
| 投資 | 1億25万円 | 3.8% |
| 予備費 | 1,000万円 | 0.4% |
| **資本的支出** | **26億6,562万円** | **100.0%** |